



写真：夕焼けの韓国岳（撮影：平成26年2月9日）

## 「夕焼けの韓国岳」

夕日に照らされた冬の韓国岳は、思わず見とれてしまうほどの美しさです。

**冬**

のえびの高原は、南九州ではめずらしく雪景色を楽しむことができる場所です。日本最南端の屋外アイススケート場へやってきた子どもたちの歓声が響き、雪が積もった時には、雪だるまを作ったり雪玉を投げ合ったりして遊んでいます。

夕暮れが近づくと人影は少なくなり、急に寒さが身に染みるように感じられます。

日が沈む前のほんのわずかな時間、雪が積もった韓国岳を夕日が赤く照らします。白い雪と青い空の2色で彩られていた世界が表情を変え、うつすらと茜色に染まり、思わず見とれてしまうほどの美しさです。

12月上旬～中旬は1年で最も日の入りが早くなる時期です。1年で最も昼間の時間が短くなるのは12月22日の冬至です。

冬至を過ぎれば昼間はだんだんと長くなっていきますが、寒さは一層厳しくなっています。

（文／えびのエコミュージアムセンター）

**夕焼け** 日没のころ、太陽光が地平に届く距離が長くなると、青い光が到達しにくくなり、橙、赤などの光により空が赤く見える現象